

# 「仁徳陵」来秋再発掘へ

## 宮内庁 3年ぶり、保全目的

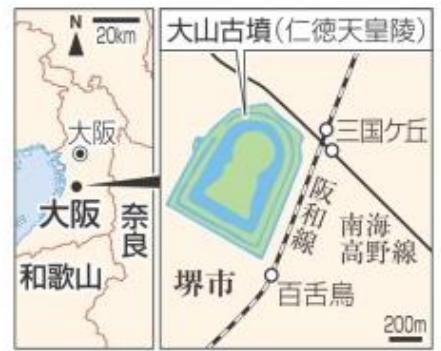


百舌鳥・古市古墳群の大山古墳=2019年6月、堺市

宮内庁が仁徳天皇陵として管理する国内最大の前方後円墳・大山古墳（堺市、5世紀中ごろ）について、古墳の保全を目的に再発掘を検討していることが10日、同庁への取材で分かった。地元自治体の堺市に協力を呼び掛け、2021年秋の実施を予定している。発掘は19年に世界文化遺産に登録されて以来初めて。古墳の構造は不明な点も

多く、被葬者を巡っては研究者の間で大きな論争が続いており、謎の多い巨大古墳の実態解明にもつながることが期待される。古墳には3重の周濠と、その間に二つの堤がある。同庁は周濠の水で浸食が進む墳丘や堤の保全計画を検討するため、18年に発掘。古墳を取り囲む二つの堤のうち、内側の堤の南東部分3カ所を調査し、こぶし大

の石を敷き詰めた石敷きや円筒埴輪の列を確認した。古墳は全長486メートルとされているが、近年の3次元地形測量で築造当初は少なくとも525メートルあったことが判明している。同庁によると、今回の再発掘では、石敷きの広がりや、埴輪列の有無などを確認する方針。



NIEワークシート  
／小学校 中学年～中学校  
／社会・総合

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

①宮内庁が仁徳天皇陵として管理する古墳の形と名称を書きましょう。 形  ・ 名称  古墳

②大阪府の何市ありますか。また何世紀の古墳ですか。  
市、 世紀中ごろ

③この古墳をふくむ百舌鳥・古市古墳群は何に登録されましたか。

④今回の発掘でどんなことが分かることを期待しますか。